

コンピューターソフト

コピー部分 高速検出法

阪大教授ら開発

コンピューターソフトの
中にある「コード・クロー

ン」と呼ばれるコピー部分を高速に検出するシステムを、井上克郎・大阪大情報科学研究科教授や神谷年洋・科学技術振興事業団さきがけ研究21研究員らのグループが開発した。不正コピーや盗作ソフトの発見、プログラムの改良などに役立つという。米国電気電子学会のソフトウェア工学論文誌六月号に発表する。

コード・クローンは、他の

プログラムの一部を複写したり、わずかな修正を施して挿入したりする際に生じる。情報量の多いソフトだと、見つけるのは非常に難しい。今回のシステムは、プログラムを意味のある区切りごとに分解して検索し、類似度を判別。海外で開発されたシステムだと五十万行程度の解析に約六時間かかるのに対し、一千万行を約一時間で処理できる。

国際監視強化を

緒方氏、ジェニン疑惑で会見

【ニューヨーク6日】勝連難民高等弁務官は6日、田誠イスラエル政府の反米国帰国後初めて、日本政府に「現地入りできず、米国の代表部で邦人記者団と会見し、「国際要員による監視体制が強化された」と述べ、今後パレスチナ、難民キャンプ虐殺疑惑調査の1員、緒方貞子・前国

配置によって軍事行動の再発を予防する必要があるとの見解を伝えた。

緒方氏は、虐殺疑惑について、国際援助機関などの報告をジェニンで受けた結果、「パレスチナ人五十二人の遺体は確認されており、標的にされた」と述べ、しなげながらも死者数は何百人規模ではない」との見方を明らかにした。

コンピューターソフト コピー部分 高速検出法

阪大教授が開発

中大にある「コード・クロー

ン」と呼ばれるコピー部分を高速に検出するシステムを開発し、井上克郎・大阪大情報科学研究科教授や神谷洋・科学技術振興事業団と共同で研究している。今回のシステムは、プログラムの意味のある区切りごとに分解して検索プログラムを改良し、類似度を判別。海外で開発されたシステムだと五十万行程度の解析に約六時間かかるのに対し、一千万行を約一時間で処理できる。

の虚構の作文を聞かされ、参院全体が侮辱された」と述べ、与党側が証人喚問に応じない場合は審議拒否も辞さない考えを示唆した。

また、参院議院運営委員会は同日の理事会で、八日に本会議を開き、井上氏の議員辞職を許可するための採決を行うことを決めた。

防衛長官が答弁

中谷防衛長官は七日の衆院武力攻撃事態対処特別委員会(委員長「瓦力」元防衛長官)で、日本が武力攻撃を受けた際の自衛隊による対米軍支援について「米軍の武力行使と一体化してはならない」と述べ、憲法で禁止されていると政府が解釈する集団的自衛権の行使にはあたらないとの考えを示した。

小泉首相は、自衛隊の武力行使について「武力攻撃を受けた場合には、武力行使が出来る。しかし、おそれのある段階などでは必要ない」と述べ、武力攻撃のおそれがある段階では、武力行使は出来ないとの認識を示した。

燃料などの物資保管命令に違反した業者への罰則については、中谷長官は公共の福祉を確保するために必要最小限のもの、日本人に日本に住む人として、協力してもらおうのは当然だ」と述べた。

〈審議の詳細25面〉

政府 各論を回避 野党 米軍支援に集中

議論がみ合わず

政府答弁	野党
武力攻撃事態の定義は「規模や態様で限定されない。あらゆる事態を含む」と述べた。	武力攻撃事態の定義は「米軍の武力行使と一体化してはならない」と述べた。
武力攻撃事態と周辺事態との関係は「米軍の武力行使と一体化してはならない」と述べた。	武力攻撃事態の定義は「米軍の武力行使と一体化してはならない」と述べた。
米軍への支援は「必要最小限のもの」と述べた。	米軍への支援は「必要最小限のもの」と述べた。
保管命令違反などの罰則規定は「必要最小限のもの」と述べた。	保管命令違反などの罰則規定は「必要最小限のもの」と述べた。

後半国会の最大の焦点である武力攻撃事態法案など有事関連三法案の実質審議が七日、衆院武力攻撃事態対処特別委員会を舞台にスタートした。しかし、踏み込んだ答弁を避け、この日の答弁で、野党側は武力攻撃事態の対象について、「定義の明確化、具

体的事例を示すべきだ」と追った。

これに対し、中谷防衛長官は「規模とか形態の面で限定はない。あらゆる事態を考慮する必要がある」として、本格的な侵攻だけではなく、テロや不審船事件も武力攻撃事態に発展する可能性があるを示した。さらに、朝鮮半島有事など周辺事態についても、中谷長官は「あらゆる周辺事態は、武力攻撃となるおそれを完全に排除できない」と強調するにとどまった。

政府が踏み込んだ答弁を避けたのは、「この法律は今後十年、二十年、場合によってはもっと長く使われないといけない」と(福田官房長官)との考えが背景にある。東アジアを取り巻く安全保障環境が大きく変わる可能性がある中で、個別具体的な事例を示せば、有事における対応が制約されかねないとの判断がある。

質疑が低調だった一因に

は、野党の質問が対米軍支援のあり方に集中したのに対し、政府側が「憲法上の制約はない」との理念を示すにとどめ、各論に触れなかったことも大きい。政府は、対米軍支援のため、日米物品役務相互提供協定(ACSA)の改定などを検討しており、国会で踏み込んだ答弁を示せば、日米交渉にも影響を及ぼしかねないことを嫌ったと見られる。

私権制限についても、福田官房長官は「今後、個別具体的に規定することが適切だ」と述べ、具体的な内容に言及しなかった。

今回の有事関連法案に盛り込まれた私権制限に関する規定は保管命令違反の前

たる修正を求めた。旧社会党系議員を中心に、党内に法案への議論は低調(政府側と野党側との議論が激しい)のうえ、政府側には「野党が協力してくれるか分からない。最終的に政府原案のまま成立させるを得ないのではないか」と(防衛庁幹部)との見方がある。



ユニクロの39歳新社長 * 玉塚元一さん

有事3法案 国会審議スタート

米軍支援 憲法制約ない

小泉首相は七日の衆院武力攻撃事態対処特別委員会、野党に対し有事関連三法案の修正協議を呼びかけた。

民主党の岡田也政調会長に対しては、「民主党から良い提案があれば、よく検討したい」と積極姿勢を示した。自由党の藤井幹事長にも「対案がある」「建設的な議論ができる」と呼びかけた。

一月余りとなる中、法案成立の道筋を確実なものとするには、野党の協力が不可欠だとの判断がある。

しかし、首相の意向をよそに、修正協議の展望はまったく開けていない。

三法案は、有事対応に積極

的な自民、保守両党と慎重な公明党との妥協の産物だ。それだけに、野党との修正協議を進めれば、与党内の不協和音を呼び起す懸念があり、与党側も簡単に協議を進めるわけにはいかないという事情がある。

これに対し、民主党は七日、

修正の具体的な内容でも、与野党の溝は深い。政府・与党側は「修正に必要とする規定を盛り込む」と見られる。野党側は「基本理念など」とあるべきだ(政府側)と主張している。

修正の具体的な内容でも、与野党の溝は深い。政府・与党側は「修正に必要とする規定を盛り込む」と見られる。野党側は「基本理念など」とあるべきだ(政府側)と主張している。

修正の具体的な内容でも、与野党の溝は深い。政府・与党側は「修正に必要とする規定を盛り込む」と見られる。野党側は「基本理念など」とあるべきだ(政府側)と主張している。

修正の具体的な内容でも、与野党の溝は深い。政府・与党側は「修正に必要とする規定を盛り込む」と見られる。野党側は「基本理念など」とあるべきだ(政府側)と主張している。

首相、野党に修正協議呼びかけ

展望開けず空回り

米鉄鋼に100%関税

政府セーフガードへ報復

アメリカの鉄鋼製品への力から輸入される鉄鋼製品(万円)前後の見込みだ。

緊急輸入制限(セーフガード)に100%の報復関税をかける。事実上、日本から締めて出さず、関税総額は易機関(WTO)に報復関税リストを通告するが、実際に報復措置を発動するかどうかは、発動期限である六月十七日まで米政府と交渉を続けた上で最終決断を下す方針だ。日本が報復関税に対して報復する強硬姿勢

「もんじゅ」改造 安全審査終わる

高速増殖炉「もんじゅ」(福井県敦賀市)の試運転再開に向け、核燃料サイクル開発機構から提出されていた改造工事の申請について、経済産業省原子力安全・保安院は七日、「原子炉等規制法の許可基準に適合している」とする審査結果を発表した。

この審査終了で、試運転再開を目指すという。

「もんじゅ」改造 安全審査終わる

高速増殖炉「もんじゅ」(福井県敦賀市)の試運転再開に向け、核燃料サイクル開発機構から提出されていた改造工事の申請について、経済産業省原子力安全・保安院は七日、「原子炉等規制法の許可基準に適合している」とする審査結果を発表した。

この審査終了で、試運転再開を目指すという。

「もんじゅ」改造 安全審査終わる

高速増殖炉「もんじゅ」(福井県敦賀市)の試運転再開に向け、核燃料サイクル開発機構から提出されていた改造工事の申請について、経済産業省原子力安全・保安院は七日、「原子炉等規制法の許可基準に適合している」とする審査結果を発表した。

この審査終了で、試運転再開を目指すという。

「もんじゅ」改造 安全審査終わる

高速増殖炉「もんじゅ」(福井県敦賀市)の試運転再開に向け、核燃料サイクル開発機構から提出されていた改造工事の申請について、経済産業省原子力安全・保安院は七日、「原子炉等規制法の許可基準に適合している」とする審査結果を発表した。

この審査終了で、試運転再開を目指すという。

「もんじゅ」改造 安全審査終わる

高速増殖炉「もんじゅ」(福井県敦賀市)の試運転再開に向け、核燃料サイクル開発機構から提出されていた改造工事の申請について、経済産業省原子力安全・保安院は七日、「原子炉等規制法の許可基準に適合している」とする審査結果を発表した。

この審査終了で、試運転再開を目指すという。